

2026年3月期第3四半期 決算説明補助資料

株式会社サクシード

(東証グロース：9256)

- 2025年10月、児童発達支援・放課後等デイサービス運営企業「株式会社unico」の全株式を取得し完全子会社化。当社人材サービスとのシナジーにより成長加速を目指す。
- 株式会社みんがくが提供する教育特化のAIプラットフォーム「スクールAI」の利用者数が12万IDを突破。今後も増加を見込む。
- 名古屋市千種区に当社愛知県初出店となる個別指導塾を新規開校。首都圏のみならず中京圏においてもドミナント展開を目指す。
- 人手不足を背景に教育人材・福祉人材サービスが堅調に推移し、売上高・営業利益とも2ケタ成長を達成。
- 高校無償化による学習ニーズの変化とみられる、中学受験などの問い合わせが増加。対応コースを強化し生徒の獲得を進める。

セグメント売上高 前年同期比11.0%増

セグメント	2025年 3月期第3Q	2026年 3月期第3Q	前期比 (金額)	前期比 (率)
個別指導	1,008.8	1,096.9	88.1	+8.7%
家庭教師	384.8	349.2	▲35.6	▲9.2%
教育人材 サービス	877.3	1,055.7	178.4	+20.3%
福祉人材 サービス	381.1	442.2	61.1	+16.0%
セグメント計	2,652.2	2,944.1	291.9	+11.0%

※家庭教師事業については新規入会数が前期を上回るものの期首会員数（単位：百万円）が前年を下回ったため売上減となっています。

セグメント利益 前年同期比9.4%増

セグメント	2025年 3月期第3Q	2026年 3月期第3Q	前期比 (金額)	前期比 (率)
個別指導	261.3	255.3	▲5.9	▲2.2%
家庭教師	21.0	4.7	▲16.2	▲77.5%
教育人材 サービス	161.8	199.5	37.7	+23.3%
福祉人材 サービス	71.8	105.0	33.2	+46.3%
セグメント計	516.1	564.7	48.6	+9.4%

※家庭教師事業については期首会員数が前年を下回ったほか、東海支社（単位：百万円）新設に伴う費用が発生しており前年比減となっております。

各事業セグメントの概要

自社ブランドサービス

個別指導教室部門

- 2025年10月愛知県への初進出となる「千種校」が新規開校、首都圏のみならず中京圏へもドミナント展開を進める
- 高校無償化の影響とみられる顧客ニーズの変化に対応し中学受験コースを強化

家庭教師紹介部門

- 東海支社の開設により東海エリアでの会員数増を見込む
- 先行費用として教師募集費用が増加

各事業セグメントの概要

外部向け人材サービス

教育人材サービス部門

- 自治体向け学習支援事業の受注数が増加
- 部活動運営受託サービスの受注数が増加
- 学習塾向け講師紹介・派遣サービスが伸長

福祉人材サービス部門

- 学校介助員などの人材派遣サービスが堅調に推移し売上が増加
- 紹介手数料の単価上昇により収益性が向上
- 営業人員の確保にむけ採用活動を強化

売上高40.9百万円 セグメント損失44.1百万円

セグメント		2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	前期比 (金額)	前期比 (率)
みんなぐ	売上高	-	40.9	-	-
	営業利益	-	▲44.1	-	-

※営業利益はのれんの償却額含まず
(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

みんなぐトピックス

- 世界最大級のEdTechアワード「GESA日本予選」にて「審査員特別賞」受賞
- 第10回1EdTech Japan賞「優秀賞」受賞
- 教科書・教材出版社啓林館と共通テスト「情報Ⅰ」対策教材を共同開発

株式会社みんなぐくについて

代表者：代表取締役 佐藤雄太

本社所在地：

東京都中央区日本橋箱崎町41-3 パレステュディオ日本橋東壱番館 1105号室

設立：2021年

事業内容：

教育サービス開発、教育機関へのコンサルティング・研修、教育メディア事業

今後の展望：

文部科学省のガイドラインにおいても、教育現場で生成AIを活用していく方針が示されています。生成AIが教育現場で活用される機会は今後大幅に増えていくものと予想され、みんなぐくが提供する生成AIプラットフォーム「スクールAI」の利用者アカウント数も12万IDを突破しています。当社は「スクールAI」の拡大を後押しし、その成長を取り込む狙いです。

株式会社みんなぐく受賞歴等

受賞歴

- ・2021年 日本Eラーニング大賞「オンライン学習管理 特別部門賞」
- ・2021年 Asia EdTech Summit「Gold賞（金賞）」
- ・2023年 日本Eラーニング大賞「経済産業大臣賞」
- ・2023年 Asia EdTech Summit「Silver賞（銀賞）」
- ・2023年 文部科学省 Scheem-D Pitch and Conference 2023「～生成AIと教育～」採択
- ・2023年 経済産業省 EdTechイノベーター支援プログラム採択
- ・2023年 Google Cloud Startup Program採択
- ・2024年 京都府 産学公連携・子育て支援プロジェクト採択
- ・2024年 経済産業省 働き方改革支援補助金採択
- ・2024年 Microsoft for Startups Founders Hub採択
- ・2024年 授業イノベーションコンテスト（EIC Tokyo2024）「最優秀賞」
- ・2025年 Global EdTech Startup Awards（GESA）日本予選「審査員特別賞」
- ・2025年 第10回1EdTech Japan「優秀賞」

共同研究

- ・2023年～ 東京学芸大学 鈴木直樹准教授 生成AI活用による授業振り返りシステムの開発と検証
- ・2023年～ 東北学院大学 稲垣忠教授 生成AIを用いたPBLシミュレーターのログと評価の分析
- ・2023年～ 玉川大学 濱田英毅教授 旺文社のデータに基づき歴史上の人物と対話ができる生成AIアプリ「歴史人物シミュレーター」の実証研究
- ・2024年～ 札幌国際大学 安井政樹准教授 教育現場における生成AI活用に関する共同研究
- ・2024年～ 中部大学 樋口万太郎准教授 教員向け研修パッケージ及び算数授業設計支援AIコンテンツの開発

売上高149.3百万円 セグメント利益7.1百万円

セグメント		2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	前期比 (金額)	前期比 (率)
unico	売上高	-	149.3	-	-
	営業利益	-	7.1	-	-

※営業利益はのれんの償却額含まず
(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

unico トピックス

- 現在直営校15教室FC校12教室を運営 グループインを機に直営校の出店を加速させるとともにFC加盟校募集を本格的に開始
- 2025年10月に子会社化したため売上高は10月～12月の実績となります

株式会社unicoについて

代表者：代表取締役 濱田 諒

本社所在地：
福岡県福岡市中央区天神3丁目6-4 VORT福岡天神5階

設立：2023年

事業内容：
児童発達支援・放課後等デイサービス事業（直営校15教室）
児童発達支援・放課後等デイサービスにおけるフランチャイズ事業（FC校12教室）

教室所在地：
東京都 神奈川県 千葉県 埼玉県 北海道 長野県 愛知県 福岡県 大分県

今後の展望：
少子化の中でも利用者が急増している児童発達支援・放課後等デイサービス領域において unico社が持つ施設運営ノウハウと当社が持つ福祉系人材の供給力を掛け合わせることで直営校・フランチャイズ校ともに全国に出店を加速させる計画です。

ディスクレイマー

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社サクシード（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2026年1月31日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。